



2021 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 日本ライフライン株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 鈴木啓介
(コード番号 7575)
問合せ先 常務取締役管理本部長 山田健二
(TEL. 03-6711-5200)

腹部大動脈瘤治療用ステントグラフト「Alto」の薬事承認取得に関するお知らせ

当社は、Endologix, Inc. (以下、エンドロジックス社) 製の腹部大動脈瘤治療用ステントグラフト (以下、腹部用ステントグラフト) 「Alto (アルト)」*1につきまして、本年 5 月 18 日に薬事承認を取得いたしました。保険適用および販売開始は本年 7 月を予定しております。

当社は、既にエンドロジックス社製「AFX2 ステンントグラフトシステム」を日本国内で販売し、高い評価を得ており、今回「Alto」が新たに商品ラインナップに加わることにより、「AFX2 ステンントグラフトシステム」では治療が困難な症例にも対応が可能となることから、当社の大動脈治療領域における競争力がさらに高まるものと期待しております。

「Alto」は、メインボディ部分のステントと PTFE 製のグラフト (人工血管) 部分が重ならないユニークな構造を採用することで、現在、市場に存在する製品の中では最も細い外径 15Fr*2 のデリバリーシステムを実現しております。さらに、血管への固定方法についても、生体適合性のあるポリマーをグラフトの円周に配置されたシーリングリングに充填することで、本体を血管壁に圧着させる手法を採用しており、ステントのみによる固定方法に比べてエンドリーク*3のリスクを低減しつつ、多様な血管の形状に対応することを可能としております。これらの独自の構造により、「Alto」では従来のステントグラフトでは困難であった、血管が細い症例や複雑に蛇行している症例においても治療部位への安定的な留置が可能となります。

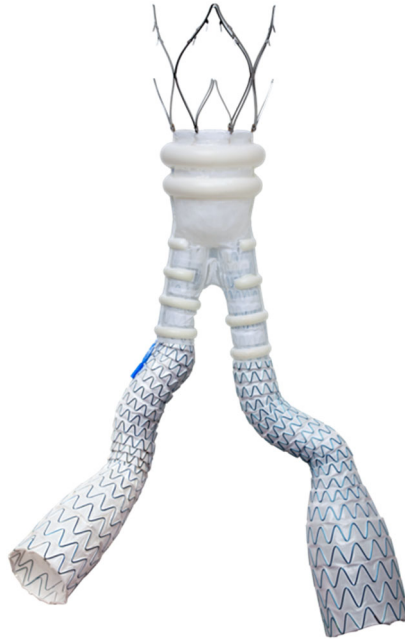
当社の外科関連の製品群は、開胸手術に用いる人工血管、カテーテルによる経皮的治療に用いるステントグラフト、さらにそのハイブリッド型のオープンステントグラフトを取り揃えており、大動脈治療領域において、他社にはない豊富な商品ラインナップを有しております。「Alto」の導入により、従来以上に医療現場の多様なニーズに応えることができることから、本商品の普及に努めてまいります。

以 上

*1 従来、「Ovation Alto」と表記しておりましたが、製品名称の変更に伴い「Alto」となりました。

*2 Fr (フレンチ) 外径を表す単位で 1Fr は約 0.3mm。15Fr は約 4.5mm。

*3 エンドリーク 大動脈瘤への血液の漏れ。



腹部用ステントグラフト「Alto」

エンドロジックス社について

エンドロジックス社（Endologix, Inc.）は米国（カリフォルニア州アーバイン）に本社を置き、腹部大動脈瘤への先進的な低侵襲治療デバイスであるステントグラフトの研究及び開発を行っております。同社は「AFX2 ステントグラフトシステム」や「Alto」等の新規性の高い優れた製品を有しています。